



＼ 世の中の健康情報をお届けします /

INDIBA News



所沢にある医療機関でインディバアクティブが活用されています。
どのような範囲で活用されているか、是非ご確認ください。



インディバアクティブ INDIBA Activ

スポーツ医療で多くの治療促進の実績があるインディバアクティブは、怪我やコリなどの痛みの緩和・除去、組織の早期回復、関節可動域の改善など一般的な痛みに対する治療効果も期待できる「幅広い有能性」のある高周波温熱治療器です。

インディバアクティブは、海外で長年トップアスリートの間で愛用されてきました。国内でも多くのプロスポーツ選手やスポーツ団体に認められ、クリニックや病院で専門家がインディバアクティブを治療に使用しています。2008年には医療許可を取得しているため、業界から高い信頼を得ています。

当院が導入しているインディバアクティブは、医療認可を取得しているHCR801という機器で治療がメインとなります。プレート状の電極と施術者の持つプローブの間にジュール熱を発生させ、損傷した組織修復や細胞の新陳代謝を促します。

捻挫や肉離れなどの急性症状、肩こりや関節痛などの慢性症状、どちらにも治療効果が期待できます。

また硬くなった関節や筋肉に熱の動きで柔軟性を与えるため、疲労回復やコンディショニング、基礎代謝をアップさせる効果もあります。

1回目の施術から、痛みの軽減や患部の動かしやすさを感じていただけることが多い治療器です。

このほかにも、冷え性や免疫力向上など幅広い治療目的で使われています。

当院では、定期的にインディバの勉強会や講習に参加している担当者が施術いたしますので、安心してご利用くださいませ。



美容医療でも活用されています。
TOKIKOクリニック様のHPに掲載されています。



インディバにはどんな効果がある？施術方法なども解説

インディバの効果は？そもそもどんな機器？



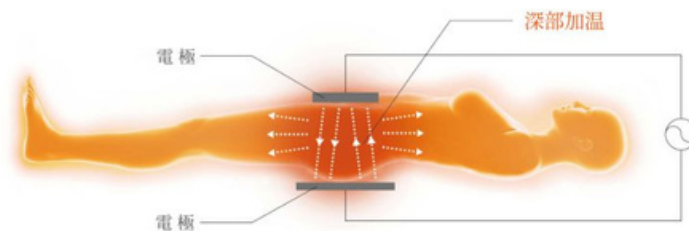
インディバには、痩身や顔のリフトアップなどの効果があると言われていますが、そもそもどのような機器かご存知でしょうか？

インディバとは、身体の深部を温めることを目的とした電磁波エネルギーによる高周波温熱治療器です。
外側のケアだけでなく、内面からもケアできる機能を持つ万能機器なのです。

施術方法は2つの電極で体を挟み、体内に高周波を流して体内細胞分子レベルを振動させて摩擦熱を発生。この摩擦熱を「ジュール熱」と言い、体内組織の温度を3℃～7℃上昇させることが可能です。

体の深部に熱を作ることによって、血液やリンパの流れをよくし、余分な脂肪や老廃物は排出して痩せやすい体質にしています。

全身の細胞の活性化させ、身体を芯から温めることにより身体が本来持っている力を取り戻します。インディバは1995年から日本でも導入され、現在、美容業界にとどまらず、医療機関やスポーツの現場でも扱われています。



「身体の冷え」を侮ってはいけない

「冷えは万病のもと」とよく言われますが、「身体の冷え」が人体にとってどれほどの悪影響を及ぼすのか？を見ていきましょう。

内臓の働きが低下する

身体が冷えると内臓機能が衰えます。人間の臓器は熱エネルギーを用いて動いているためです。

内臓の働きの低下は便秘や老廃物を排出するリンパ管の詰まりなどを引き起こし、むくみの原因になります。

血行不良・肥満

身体が冷えると、体の代謝が下がり血行不良を起こします。血行は体の細部の熱エネルギーと直接関係しているので、体脂肪を燃やす熱が無くなり肥満の原因となります。内臓脂肪や皮下脂肪なども落ちにくくなります。

免疫力が低下する

人間の基礎体温は免疫力と直接関係しています。

身体が冷えてしまうと、免疫力が下がり抗体を作る機能が下がり、風邪をひきやすくなったり、ウイルスや菌に感染しやすくなります。

この記事の監修者



トキコクリニック 総院長
小村 十樹子
(こむら としこ)

美容治療は勿論のこと、病気になるための治療、がん予防、アンチエイジング治療に熱を燃やして、治療を展開中。